



2025年 2 月期 通期決算説明資料

2025年 4 月14日

株式会社ツインバード 証券コード： 6897

2025年2月期 通期決算 ハイライト

消費行動の多様化により新生活の物販が低調、病院用冷蔵庫の期末案件が獲得できず、売上高は下期 対前年同期比増収も通期は減収 売上高の減収に加えて、冷蔵庫や洗濯機などの在庫が増加して物流費が当初予算を超過したため、営業利益は前期比減益 政策保有株式売却による投資有価証券売却益115百万円、繰延税金資産の取り崩しに伴う法人税等調整額(損)204百万円を計上

売上高

100億円

(前期比 △2.4%)

当期純利益

△1.0億円

(前期比 △2.0億円)

売上総利益率

29.6%

(前期比 △3.2pt)

家電製品事業
セグメント利益*

6.6億円

(前期比 △20.5%)

営業利益

0.04億円

(前期比 △95.8%)

FPSC※事業
セグメント利益*

1.2億円

(前期比 △26.6%)

経常利益

0.4億円

(前期比 △74.3%)

ROE
自己資本当期純利益率

△1.3%

(前期比 △2.6pt)

※FPSC：フリー・ピストン・スターリング・クーラー *調整額（全社費用 7.8億円）を除外

目次

1. 2025年2月期 通期決算概要
2. 2026年2月期 通期業績予想
3. 2025年2月期 期末配当
2026年2月期 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

目次

1. 2025年2月期 通期決算概要

2. 2026年2月期 通期業績予想

3. 2025年2月期 期末配当
2026年2月期 年間配当予想

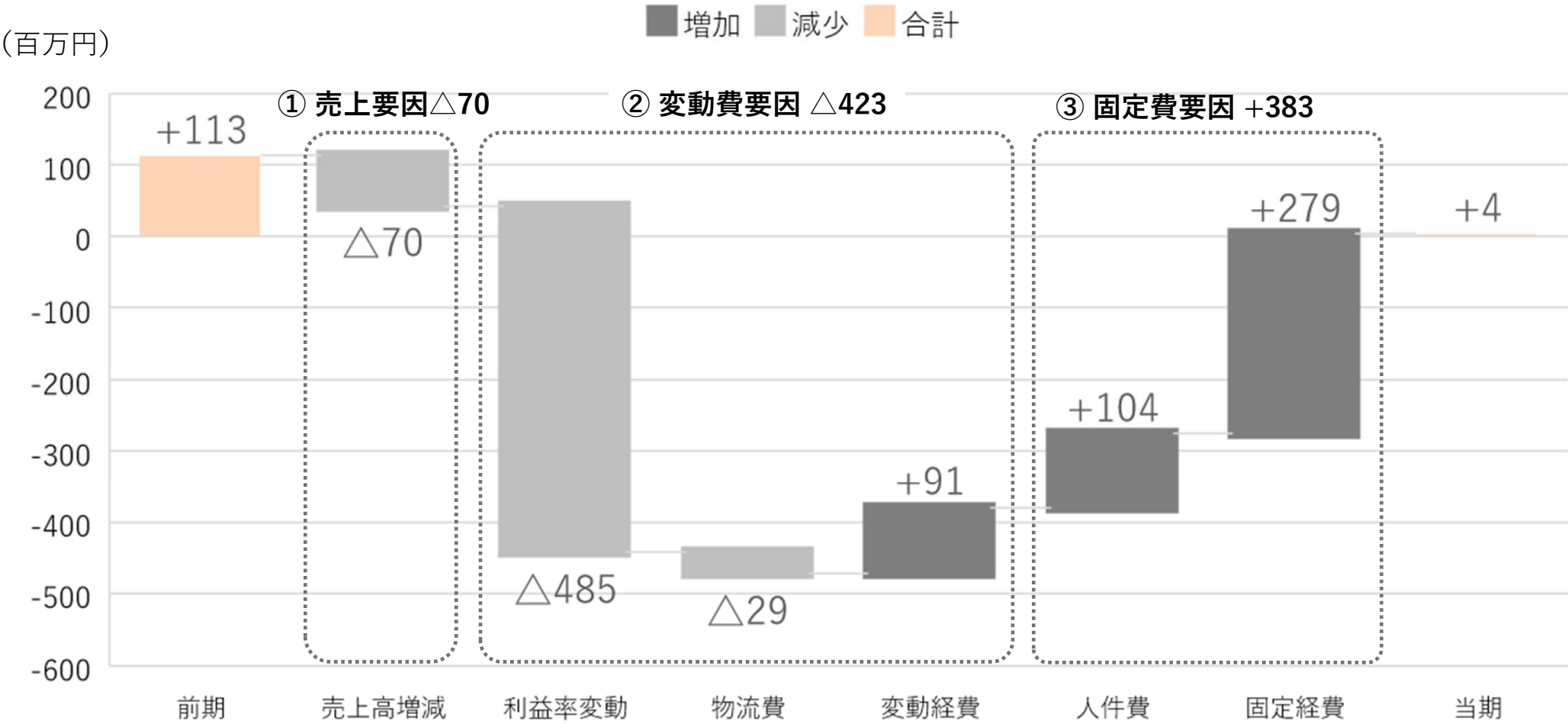
補足資料：四半期別業績数値

2025年 2 月期 通期決算 損益概況

単位：百万円	2024年度	2023年度		(参考)
	通期 実績	通期 実績	前期比 差額 増減率	2024年度 通期 業績予想
売上高	10,056	10,303	△246 -2.4%	10,500
売上総利益	2,980	3,384	△404 -11.9%	
売上高比	29.6%	32.9%	-3.2pt	
販売費及び一般管理費	2,975	3,270	△295 -9.0%	
売上高比	29.6%	31.7%	-2.2pt	
営業利益	4	113	△109 -95.8%	200
売上高比	0.0%	1.1%	-1.1pt	1.9%
経常利益	42	166	△123 -74.3%	180
当期純利益	△101	108	△209 -	130

※通期業績予想は2024年4月12日公表数値

2025年 2 月期 営業利益：前期比増減の要因分析

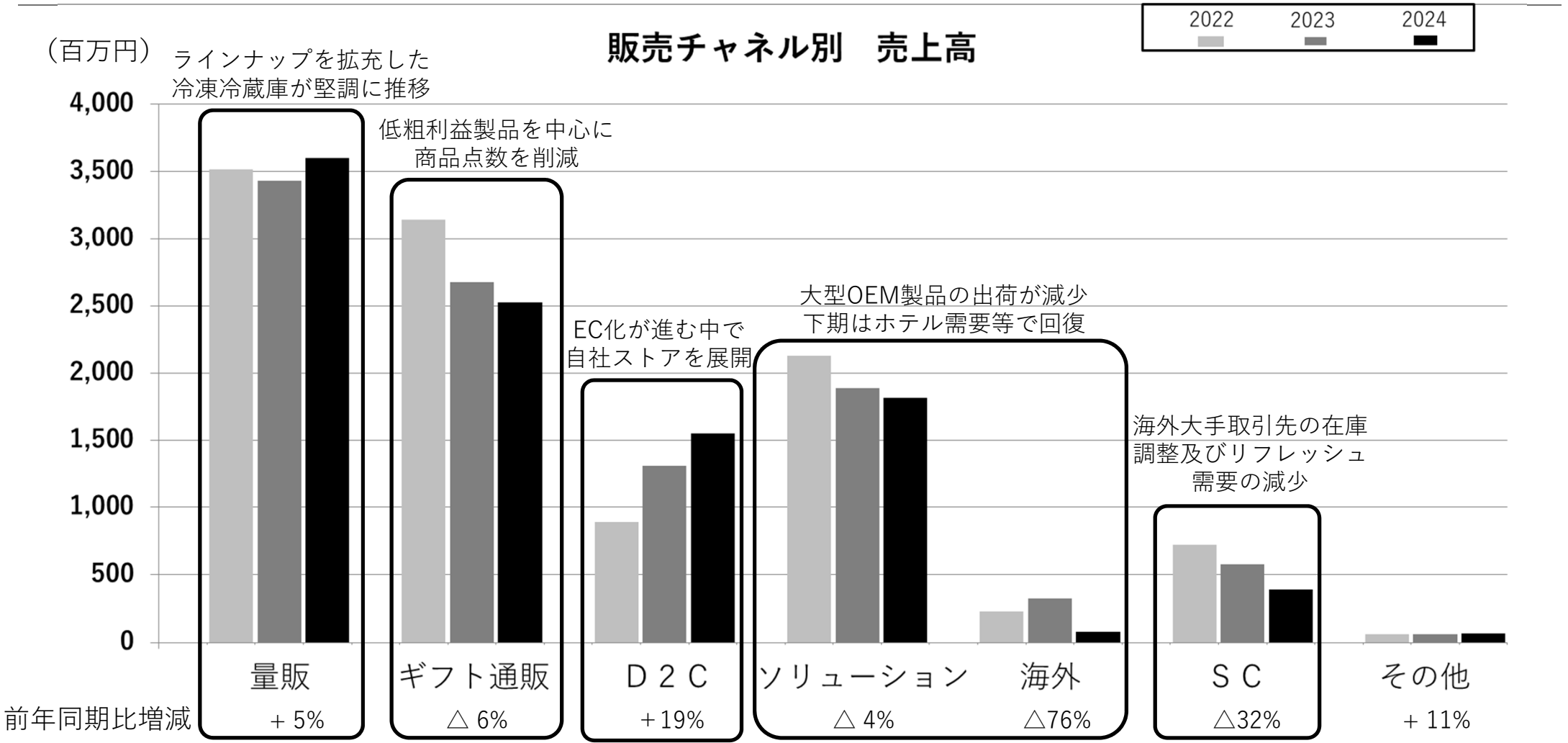


2025年 2 月期 セグメント別業績概況

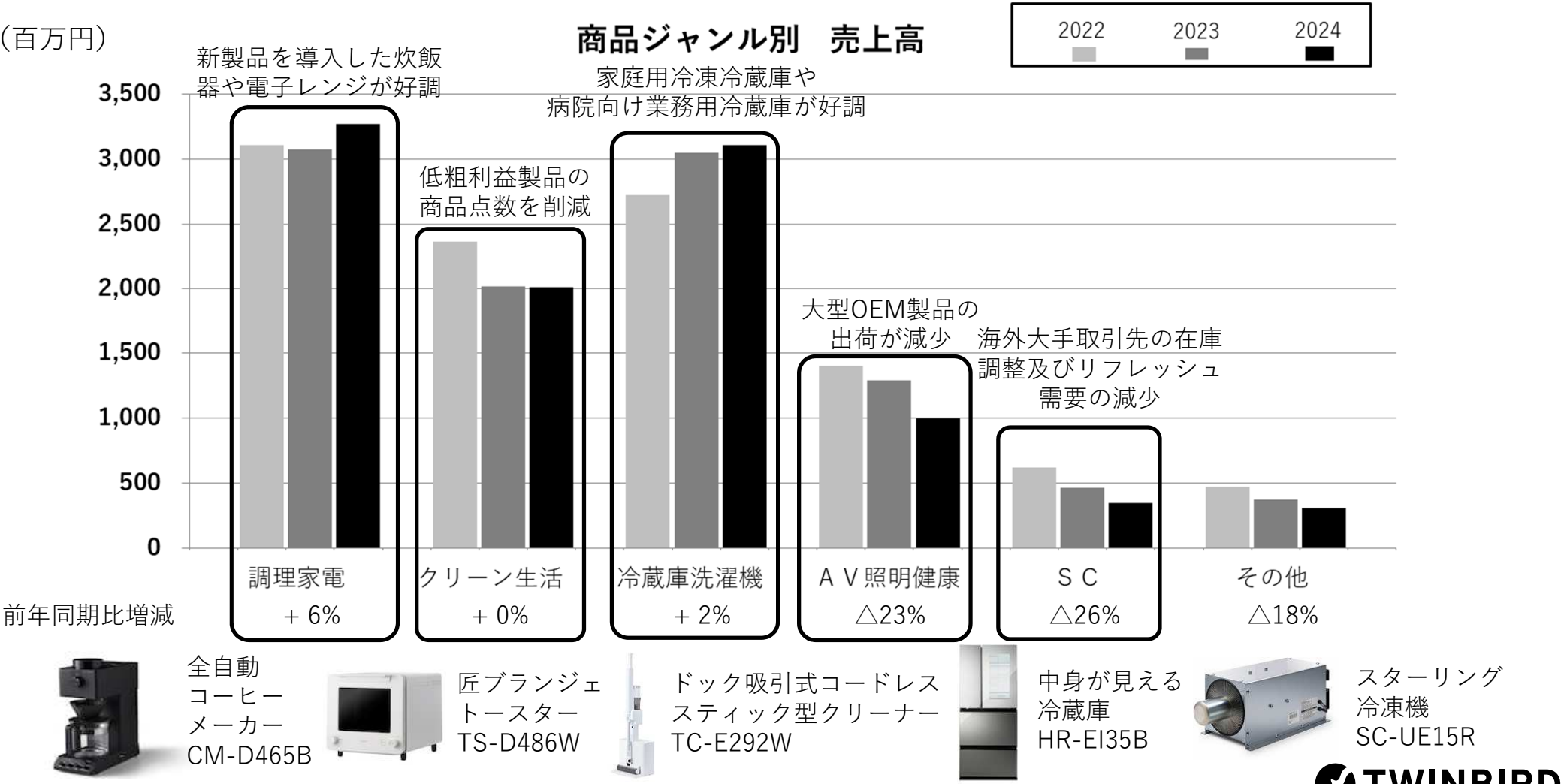
- 家電製品事業は、大型OEM製品の出荷が前期完了により前期比減収 一方、新製品導入により好調な調理家電や、インバウンド需要に対応したホテル向け製品、病院向け業務用冷蔵庫などの売上が増加 為替相場の円安進行による物価高騰や家電市場の競争激化の中、原価低減の推進、販売費及び一般管理費の抑制を進めたが、セグメント利益は前期比減益
- FPSC事業は、冷凍機単体を供給する海外大手取引先の在庫調整による出荷減少に加え、ワクチン運搬庫のメンテナンス（リフレッシュサービス）需要が一巡したため、前期より減収減益

単位：百万円	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2024年度 実績	2023年度 実績	前期比 差額	前期比 成長率	2024年度 実績	2023年度 実績	前期比 差額	前期比 成長率
家電製品事業 売上高比	9,633	9,670	△37	△0.4%	664 6.9%	836 8.6%	△171 -1.7pt	△20.5%
FPSC事業 売上高比	423	632	△209	△33.1%	121 28.6%	165 26.1%	△44 +2.5pt	△26.6%
調整額					△781	△887	106	
全社 計 売上高比	10,056	10,303	△246	△2.4%	4 0.0%	113 1.1%	△109 -1.1pt	△95.8%

2025年 2 月期 販売チャネル別 売上高の推移



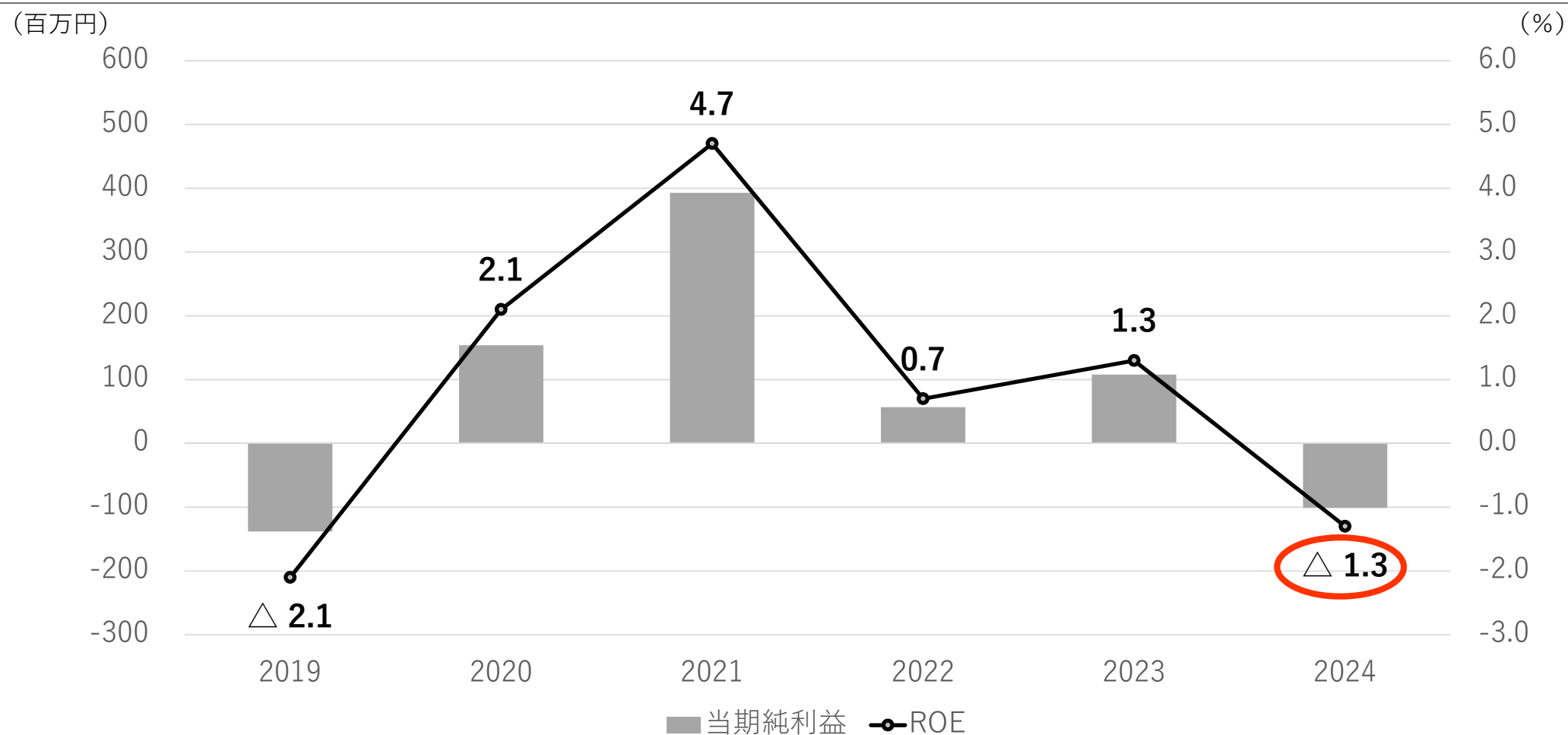
2025年 2 月期 商品ジャンル別 売上高の推移



2025年 2 月期末 貸借対照表

単位：百万円	2024年度 期末	2023年度 前期末 増減		2024年度 期末	2023年度 前期末 増減
現預金	610	871 △260	仕入債務	189	318 △129
売上債権	1,966	1,942 24	短期借入金	1,500	700 800
棚卸資産	3,139	3,021 118	長期借入金	460	690 △230
その他	370	494 △123	その他	975	1,314 △339
流動資産 計	6,087	6,330 △242	負債 合計	3,124	3,023 101
有形固定資産	3,572	3,651 △79	資本金・資本剰余金	5,149	5,143 5
無形固定資産	676	494 182	利益剰余金	2,649	2,893 △243
投資その他資産	530	737 △206	その他	△56	152 △208
固定資産 計	4,780	4,883 △102	純資産合計	7,743	8,189 △446
資産 合計	10,868	11,213 △344	負債 & 純資産合計	10,868	11,213 △344
			自己資本比率	71.2%	73.0% △1.8pt

ROE（自己資本当期純利益率）の推移



2025年2月期 キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2024年度	2023年度	増減
税引前当期純利益	113	120	△6
減価償却費	360	423	△62
売上債権の増減額	△24	243	△268
棚卸資産の増減額	△118	△459	341
仕入債務の増減額	△130	86	△216
その他	△414	50	△464
営業CF	△213	463	△676
固定資産の取得による支出	△520	△326	△193
固定資産の売却による収入	6	0	6
投資有価証券の売買額	96	28	68
その他	25	5	20
投資CF	△391	△293	△98

	2024年度	2023年度	増減
短期借入金の増減額	800	300	500
長期借入金の増減額	△230	△230	—
リース債務の返済額	△61	△83	22
配当額の支払額	△142	△140	△1
その他	△0	△9	9
財務CF	365	△164	529
フリーキャッシュフロー	△605	170	△775
現金等の換算差額	△0	3	△3
現金等の増加額	△239	9	△249
現金等の期首残高	495	485	9
現金等の期末残高	255	495	△239

目次

1. 2025年2月期 通期決算概要

2. 2026年2月期 通期業績予想

3. 2025年2月期 期末配当
2026年2月期 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

2026年 2 月期 通期業績予想

- 家電製品事業は、「匠プレミアム」「感動シンプル」のブランドラインを軸にお客様起点での製品ラインナップ拡充を継続
一方、安定した収益が見込める販売チャネルに向けた新製品開発に注力 PB製品やOEMの受注及び新規顧客の開拓を推進
バリューチェーンの連携強化による新製品開発の効率アップを図り、前期比倍増の新製品を投入し売上拡大を図る
家電製品は2025年 3 月 1 日より出荷価格を従来価格の約10%以上に順次改定し円安やエネルギー資源価格高騰の影響を抑制
新潟県燕三条地域のものづくり資源も活用し国内製造比率50%を目指すとともに、さらなる品質向上及び原価低減を推進
サプライチェーンマネジメント基幹システムによる自動化・省力化を推進し、ローコストオペレーションを図る
- FPSC事業は、年+9.6%成長*のバイオ医薬品市場における搬送・保管には、ドライアイスの使用に取って代わる厳密な温度管理（冷凍-20~-40℃ 極冷凍-70~-85℃）のコールドチェーン構築が不可欠 FPSCの独自技術がグローバル市場でも高く評価され、燃油計測機や校正器などの分野において、欧米を中心に複数の企業と契約へ向け開発着手
世界保健機関（WHO）が定める医療機材品質認証（PQS：Performance, Quality and Safety）を2024年10月に取得
各国で医療機材を選定する際の基準となるWHOのPQSカタログに掲載 ワクチン運搬庫の国内及び海外販売活動を強化

単位：百万円	2025年度	2024年度		
	通期 業績予想	通期 実績	前期比 差額	増減率
売上高	10,500	10,056	443	4.4%
営業利益	150	4	145	—
売上高比	1.4%	0.0%	1.4pt	
経常利益	120	42	77	180.4%
当期純利益	100	△101	201	—

*出典：EvaluatePharma, Worldwide
Prescription Drug & OTC Sales by Technology
(2012-2026)

目次

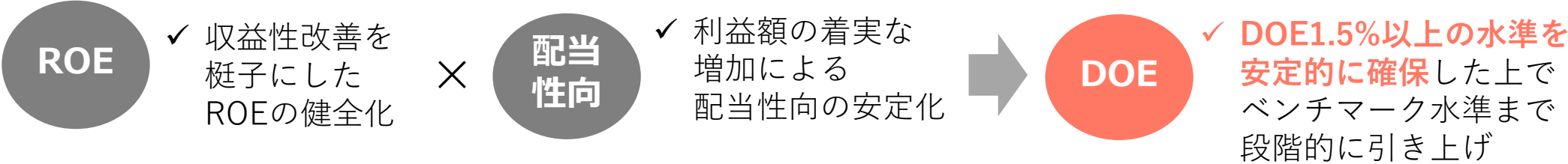
- 1. 2025年2月期 通期決算概要
- 2. 2026年2月期 通期業績予想
- 3. 2025年2月期 期末配当
2026年2月期 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

2025年 2 月期 期末 配当

【当社株主還元政策の基本的考え方】

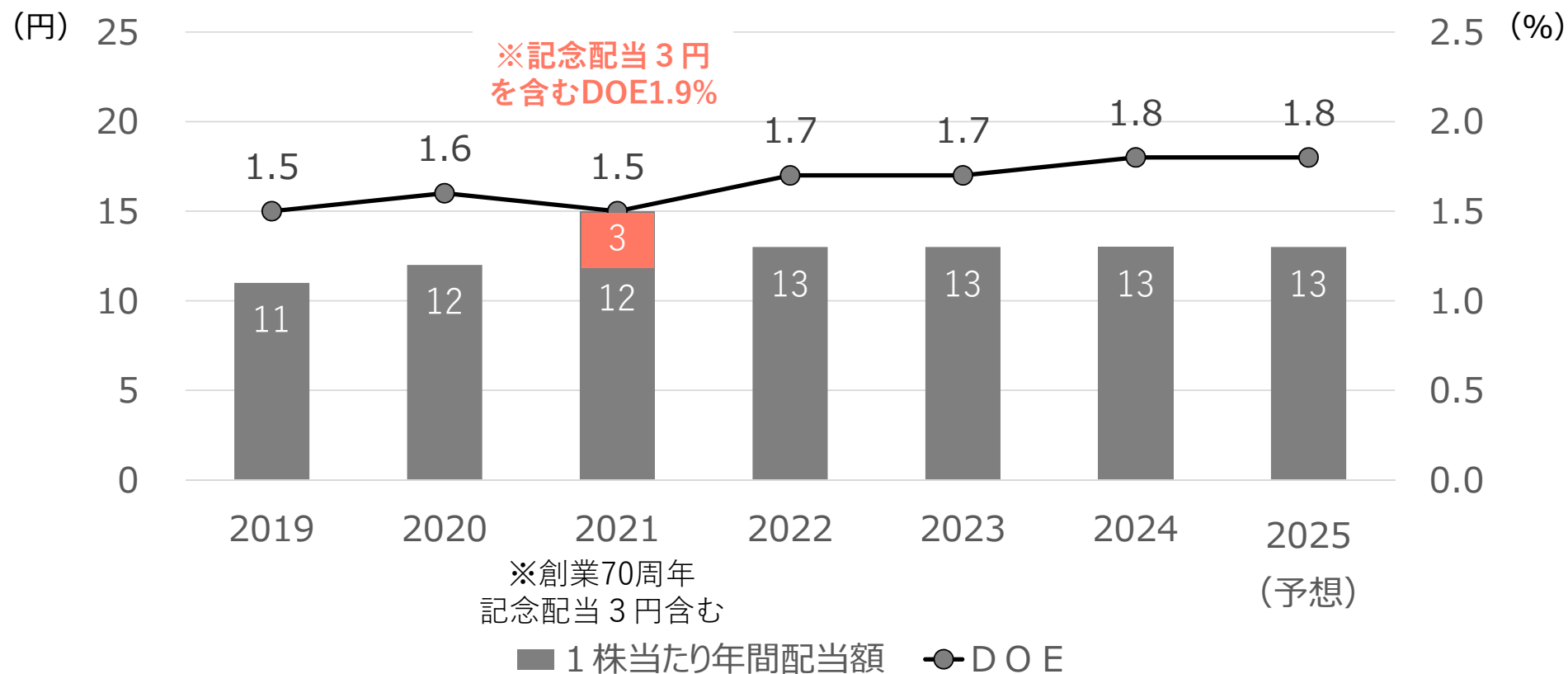
- 当社は企業価値の向上により、株主価値を高めることを経営の重要課題と認識しております。業績を向上させ財務体質の強化を図ることで、安定的かつ持続可能な株主還元（配当・自己株式取得）をおこなうことを基本方針としています
- 配当については、DOE1.5%以上の水準を安定的に確保し、段階的に引き上げることを目指しております
- 一方、自己株式の取得については、資本効率向上などを目的として、経営環境、業績動向、並びにフリー・キャッシュ・フローや財務レバレッジの水準、将来の事業資金需要の見通しなどを総合的に考慮し、適切な時期に機動的に実施します



第63期（2024年 3 月 1 日～2025年 2 月28日） 期末配当	
1. 期末配当金	当社普通株式 1 株当たり10円
2. 支払総額	109,062,160円（株式数 10,906,216株 × 10円）
3. 配当の効力が生じる日	2025年 5 月30日
（参考）中間配当 1 株当たり 3 円を加え、年間配当は 1 株当たり13円	

1株当たり年間配当額、純資産配当率（DOE）

当期（2024年度）期末配当は1株当たり10円 年間配当は13円（DOE 1.8%）を予定
次期（2025年度）年間配当は1株当たり13円（中間3円、期末10円）DOEは1.8%を予想



目次

1. 2025年2月期 通期決算概要
2. 2026年2月期 通期業績予想
3. 2025年2月期 期末配当
2026年2月期 年間配当予想

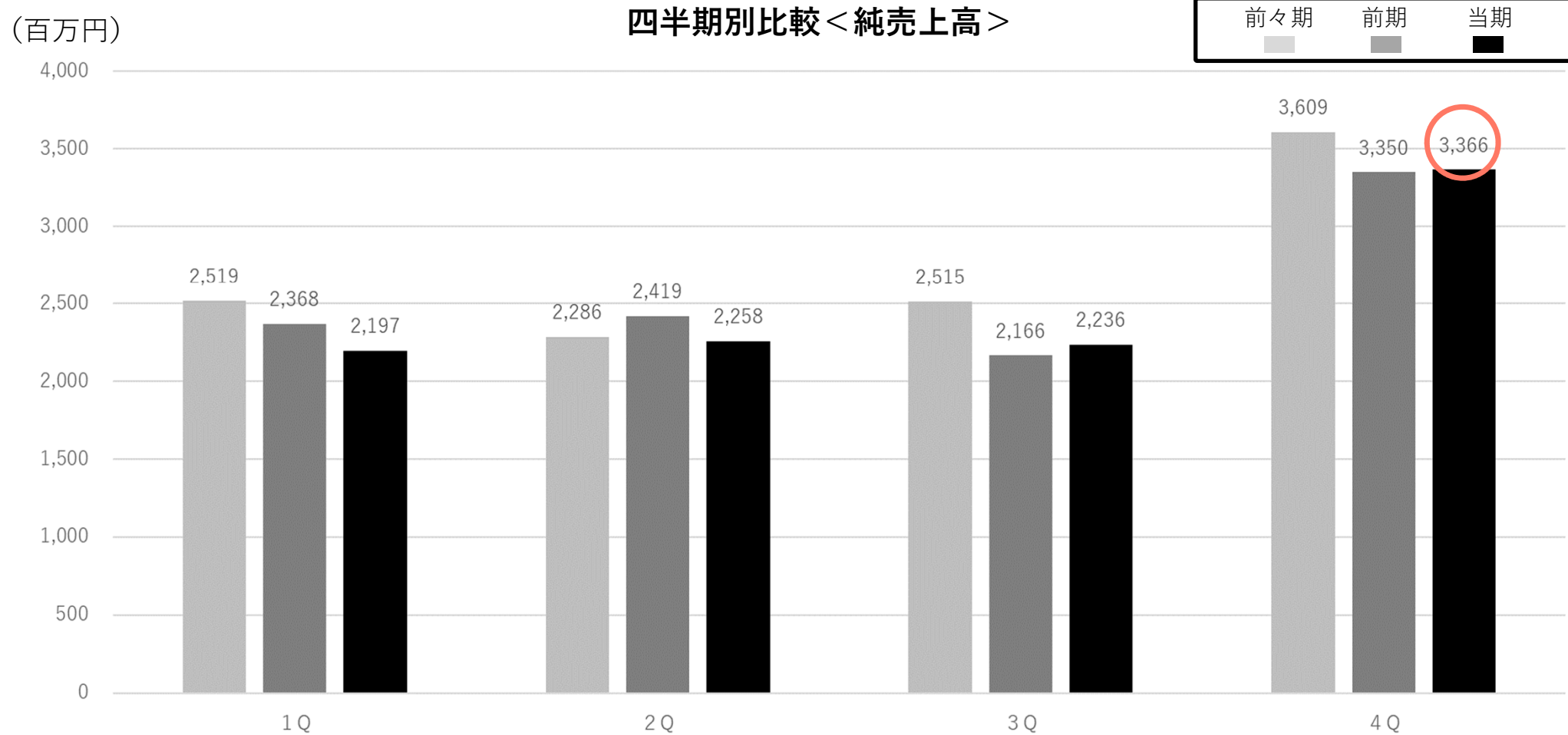
補足資料：四半期別業績数値

第4四半期（3ヶ月） 損益計算書

単位：百万円	2024年度	2023年度		
	4 Q 実績	4 Q 実績	前年同期比 差額	増減率
売上高	3,366	3,350	16	0.5%
売上総利益	1,118	1,187	△68	-5.8%
売上高比	33.2%	35.4%	-2.2pt	
販売費及び一般管理費	715	778	△62	-8.1%
売上高比	21.3%	23.2%	-2.0pt	
営業利益	403	409	△5	-1.4%
売上高比	12.0%	12.2%	-0.2pt	
経常利益	390	416	△25	-6.2%
四半期純利益	106	291	△184	-63.4%

四半期別業績数値 純売上高

※前々期：連結 前期 & 当期：個別

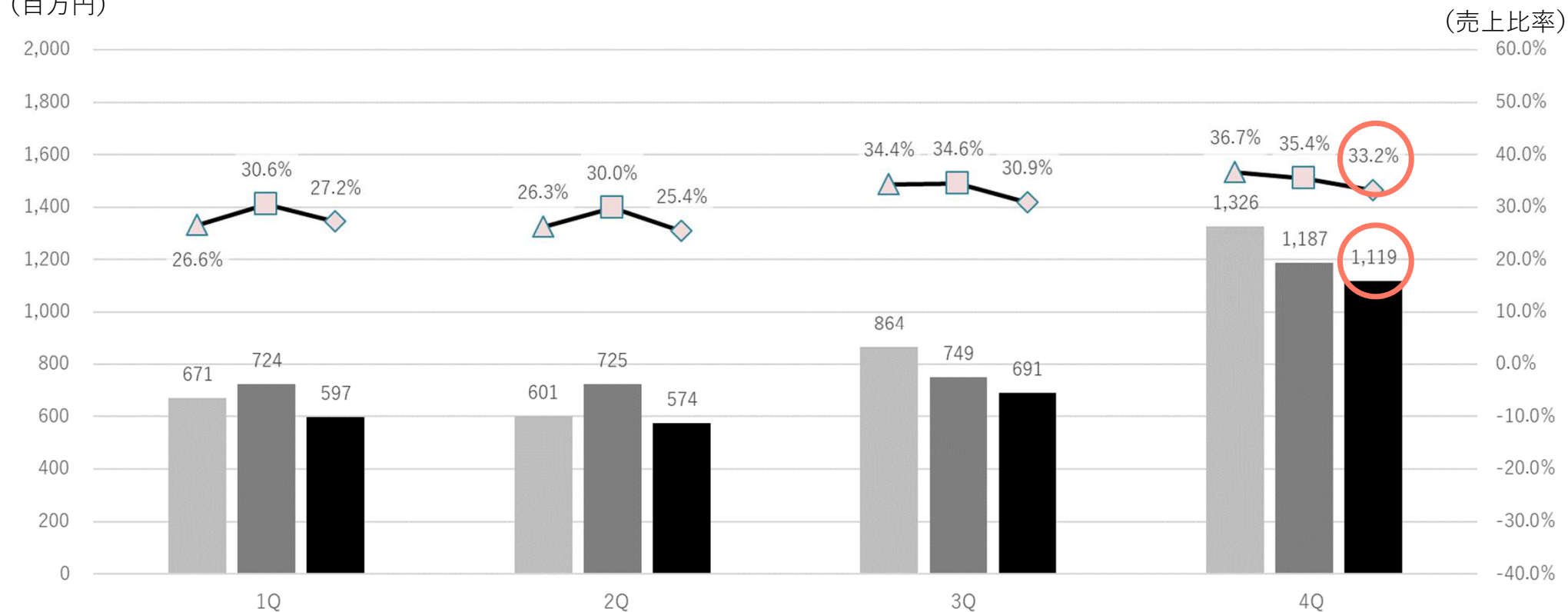


四半期別業績数値 売上総利益

※前々期：連結 前期 & 当期：個別

四半期別比較＜売上総利益＞

(百万円)

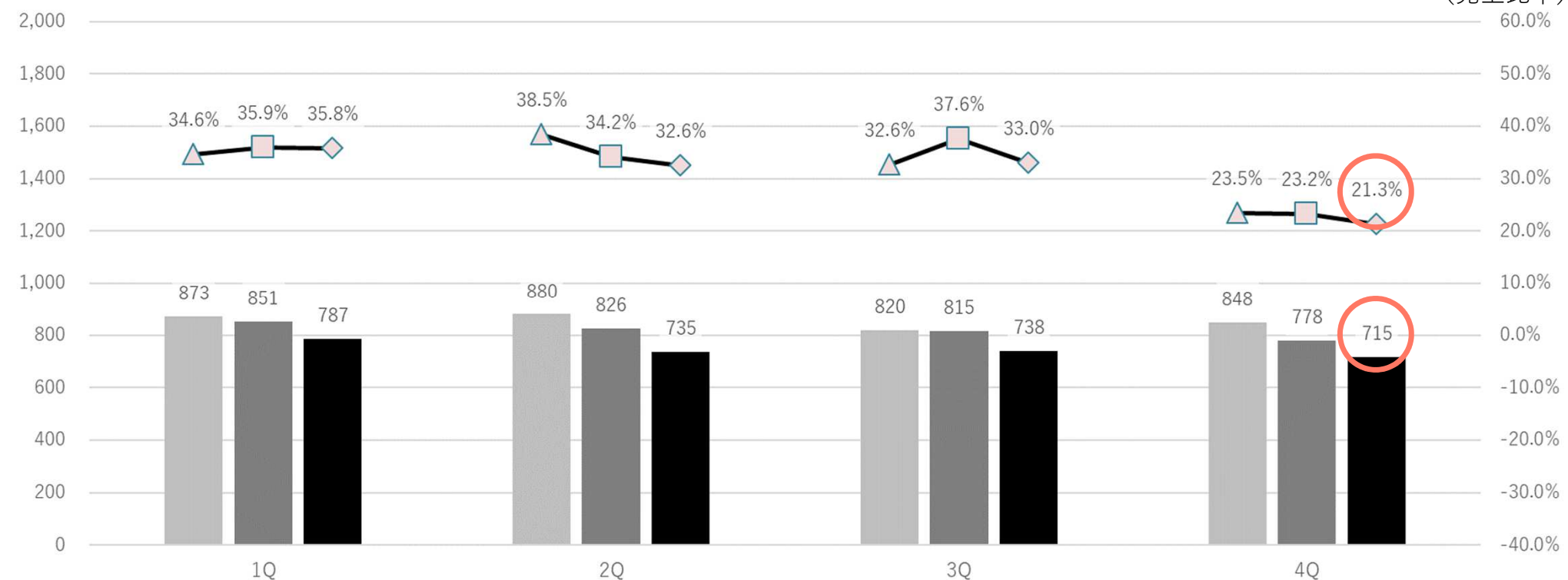


四半期別業績数値 販売費及び一般管理費

※前々期：連結 前期＆当期：個別

四半期別比較＜販売費及び一般管理費＞

(百万円)

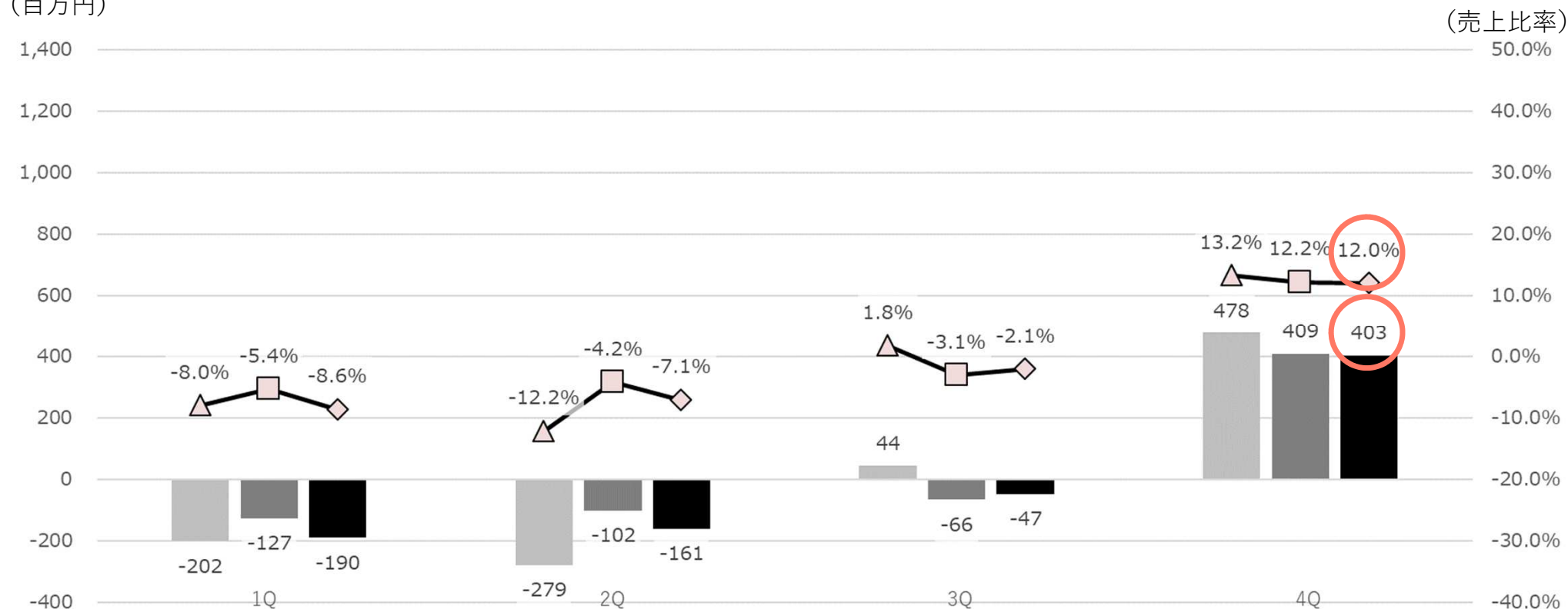


四半期別業績数値 営業利益

※前々期：連結 前期 & 当期：個別

四半期別比較＜営業利益＞

(百万円)

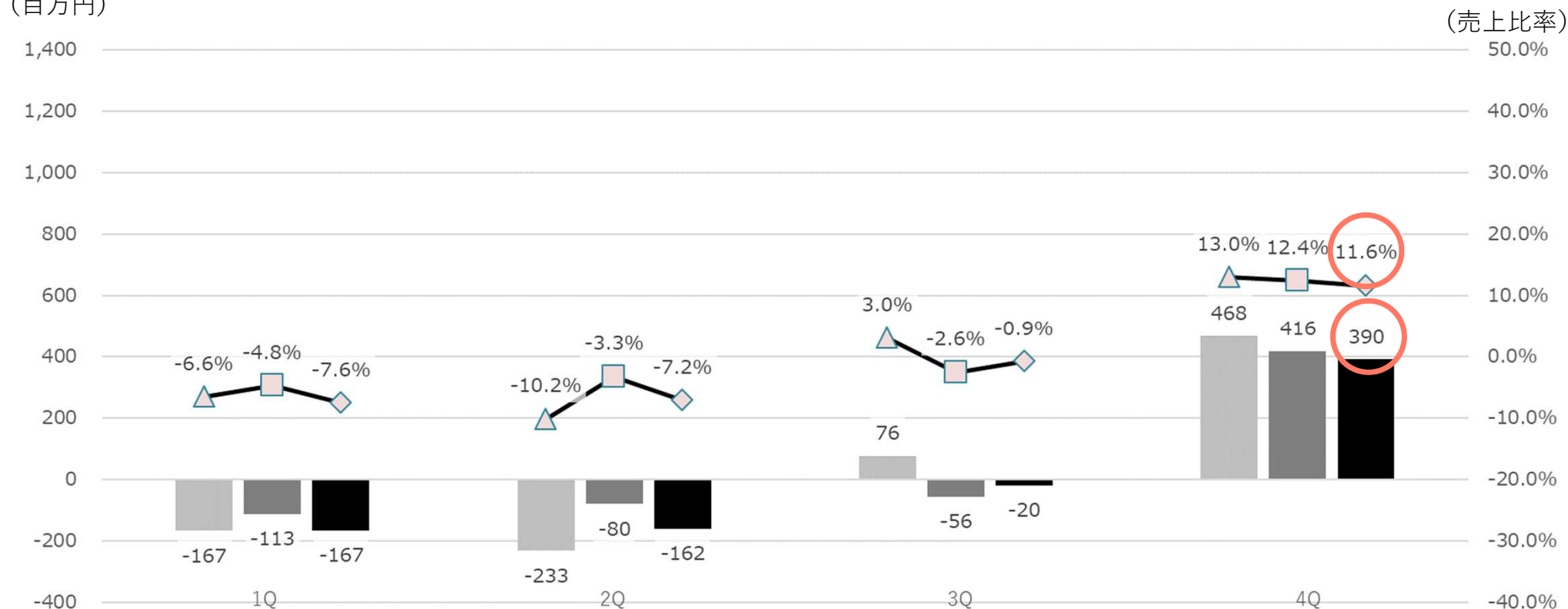


四半期別業績数値 経常利益

※前々期：連結 前期 & 当期：個別

四半期別比較＜経常利益＞

(百万円)

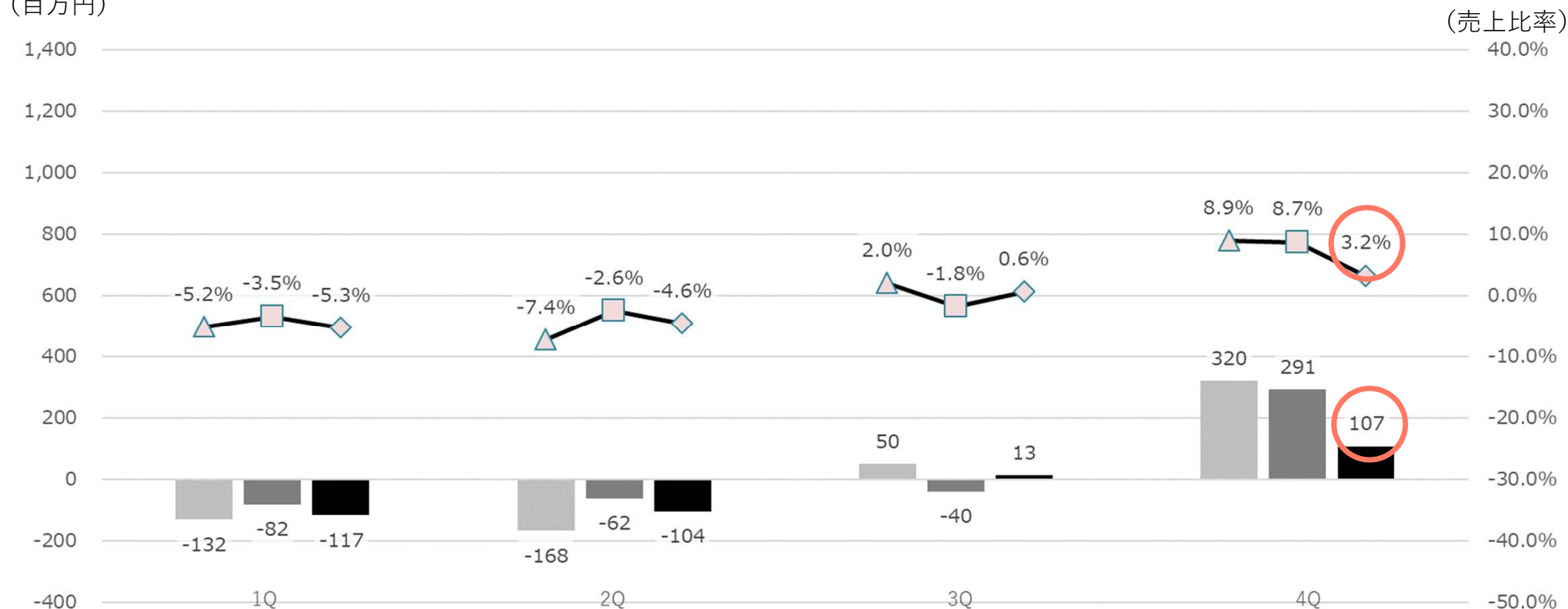


四半期別業績数値 四半期純利益

※前々期：連結 前期 & 当期：個別

四半期別比較＜四半期純利益＞

(百万円)





I R・決算に関するお問い合わせ先

株式会社ツインバード 取締役最高財務責任者 企画管理本部 本部長 渡邊 桂三 (TEL : 0256-92-6111)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する意見や予測等は、資料作成時点で一般に認識されている経済・社会等の情勢及び、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更される可能性があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。